

日刊

岩手

新聞

福島縣石成郡平町、相馬町
印刷所、加納活版所
福島縣石成郡平町、相馬町
發行所、磐城時報社
一部金武銭一ヶ月金付銭
廣告料行書字詩金五十銭
▲日刊(日曜、祭日)休刊

玉川村長野崎滿藏、村議遠藤喜
三郎、高萩儀平外一名の委員は
今二十日出仙仙臺礦山監督局に
藤原川沿岸の礦毒被害實狀の調
査促進方策に對策に就いて陳情
した。

玉川村委員
陳情に出仙
出征勇士に慰問袋
第二校高等科の四娘

銃後に咲いた佳話
出征勇士に慰問袋

此れと同時に學花に一段の風情
花は例年より幾分早目に十日の
川畔や松ヶ岡の櫻蕾がボッカリ
笑ひ出しそうな暖かさ。

以上の様に決定發表された。

十五日間、來る三十日に抽籤
で決定

者は金三圓の申込保證金を添
えて二十七日で届出ること

貸地代は二等二十圓二十五錢
で六ヶ所。二等地十五圓で二
ヶ所。三等地は十一圓二十五

錢で四ヶ所。三等乙地は五圓
一ヶ所。合計十三ヶ所で期間

は四月十日から二十四日まで

十五日間、來る三十日に抽籤

で四ヶ所。三等乙地は五圓
一ヶ所。合計十三ヶ所で期間

は四月十日から二十四日まで

(可認物便郵種三第)

視察團員

一名死亡

突然脳溢血で

(別項)昨夜來平した前橋實業視察團員一行百三十名中平野前住吉屋支店に分宿した前橋市木炭石炭、雜貨商平方嘉平(五四)は同十九日午後十一時半頃突然脳溢血で昏倒したので大騒ぎとなり磐城共濟病院に昇ぎ込み應急手當を加へたが遂に同十二時頃絶命した。

新學期賣出し

- ◎中等教科書及辭書
- ◎國定教科書及大全科
- ◎ノート及萬年筆 (景品付)
- ◎ランドセル及せきばん

魁文堂 電313

湯本の男
白殺木逐
青函連絡船で
(二四)は去る十六日夜無断で家
出行方を晦ましたので家人は八
森縣北海道間の連絡流船から投
身覺悟の自殺を企てたが青森縣
水上署員に危いところを救助保
護されてゐる旨今二十日自宅に
取りに向つた、家出自殺の原因
は不明だが安雄は神經衰弱症で
厭世つねぐ自殺を口走つてゐ
たものである。

タクシードの御用命は
皆様の昭和へ!!

『迅速、安全、親切』弊タクシードのモットーであります
倍舊の御負託御聲援願ひます。

平田町

電話〔三四五九三〕番

非常時の女性に促す
婦人職業の近道に
産婆看護婦を御選み下さい
△申込み成るべく早く
△新學期の開始は四月八日より

平南町

産婆看護婦學校へ
校長 清野キヨ子
電話三〇七番

平產婆看護婦學校

校長 清野キヨ子
電話三〇七番

吸人用酸素器 純99%

モノサシ
マス
ハカリ
寒暖計
体温器

寫真
材料一式
馬相
ハシサキ
消食散
内薬局
電話四〇番

△三百年の歴史を有する
家傳靈藥
ハシサキ 消食散

一名かんの薬

代理店 丸龜商店
平町 大町
電話一三三番

賣り物あり
醸造用醤油、味噌、仕込桶
附屬器具、掛船、火入釜其他小モノ一切
賣却に應じます、御貸も致します。
御希望の御方は至急御申込ありたし。
○場所平町内 (姓名在社)

科齒
神谷歯科醫院
神谷辰夫
平町古鍛冶町九一

○有給外務員招聘

商品日掛販
平町南町一九
出張所 四倉町本町九九
代理店 湯本町三國八八

産婦人科院長 木村寅次郎
外外科 医學博士 内木宗八
婦人科 藥剤師 立番彌一
病室完備 平町新川町十九
電話一六四番

木村病院

日掛は金十錢以上金五十錢迄あります
六ヶ月以上御掛けに成れば一ヶ月分前貸
致します
一ヶ月御掛けに成れば年五分に相當する
配當があります
明日ご言はず今直ぐ御申込み下さい

外物用
さつま揚
吉原揚
新車が入りました
新車
セヒ
貸切ノ御用命
ハ

乗合は 好間・合戸・澤渡方面行
電話六八五番

外科 一般外科 内臓外科
入院隨意 (自炊の便あり)
元赤心堂病院
電話四七五

外科 一般外科 内臓外科
入院隨意 (自炊の便あり)
元赤心堂病院
電話四七五

父彦助儀 永々病氣の處薬石効なく三
月二十日午前七時死去仕り候間此段御通
知申上候
追而葬儀は来る三月二十二日午後二時自家出棺性
源寺へ埋葬可仕候
昭和九年三月廿日